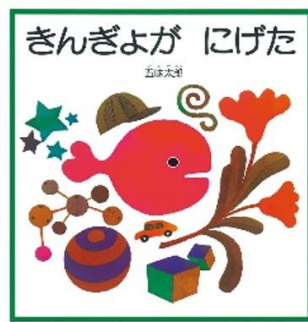




3・4さい
から



『きんぎょが にげた』

五味 太郎／作
福音館書店

「にげたした金魚はどこにかくれているかな。あっ、カーテンの模様になっていたね。おやまたにげた。こんどはどこ。」と、お子さんと一緒に絵の中の金魚を探して遊んでくださいね。



『おおきなかぶ』

A. トルストイ／再話
内田 莉莎子／訳
佐藤 忠良／画
福音館書店

ストーリーのある絵本を楽しみ始める時期には、くり返しの多い昔話がおすすです。繰り返される「うんとこしょ。どっこいしょ。」、掛け声の調子の良さに、お子さんも一緒に声が出てくることでしょう。



『わにわにのおふろ』

小風 さち／ぶん
山口 マオ／え
福音館書店

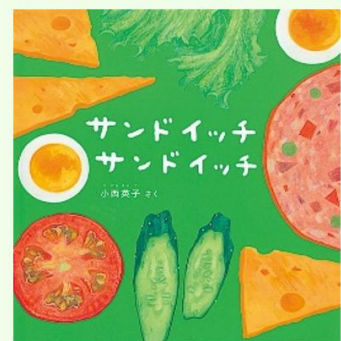
こわい顔をしているけれど、お風呂が大好きで無邪気なわにわに。そのギャップがかわいらしい。おもちゃで遊ぶし、あぶくもとばす、洗面器をかぶって「オーイー」とうたいまくる…、ゆかいな絵本。



『はらぺこあおむし』

エリック=カール／さく
もり ひさし／やく
偕成社

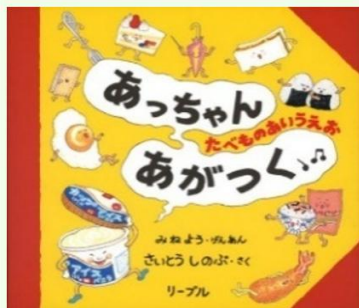
いっぱい食べて、大きくなる。子どもたちの願いにそった、わかりやすいストーリー。ちっほけだったあおむしが、きれいな蝶になるまでを、豊かな色彩と楽しいしかけで、生き生きと描いています。



『サンドイッチサンドイッチ』

小西 英子／さく
福音館書店

サンドイッチを作る過程が、実物大のおいしいそうな絵で表現されています。次は、何をのせるのかなとわくわく読み進められます。文章もとてもリズムカル。食べる事の喜びが伝わりま



『あっちゃんあがつく』

みね よう／げんあん
さいとう しぶ／さく
リーブル

うたって遊べる楽しい「あいうえお」の絵本。「あっちゃん」「いっちゃん」…と続きます。あなたの名前のページはどこかな。表情豊かで、おいしそうな食べ物たちは今にも躍り出てきそう。



『す〜べりだい』

鈴木 のりたけ／作・絵
PHP研究所

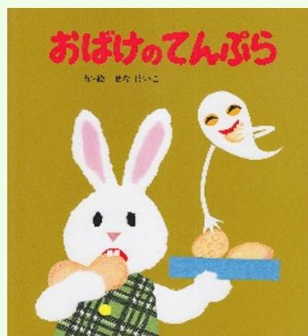
「もしも公園のすべり台がおかしな形だったら？」鈴木のにりたけさんが描く、奇妙なすべり台のアイデアがたくさん詰まった楽しい絵本。たくさん笑って気分爽快！読み終えたら公園へ！



『そうくんのさんぽ』

なかの ひろたか／さく
なかの まさたか／レタリング
福音館書店

そうくんが散歩に出かけます。次々にであった友だちを背中に乗せて、力持ちだね。大丈夫かな？って思った瞬間に、「うわー。」素朴な展開ですが、少しハラハラもして小さなお子さんにも楽しめます。



『おばけのてんぷら』

せな けいこ／作・絵
ポプラ社

色彩がはっきりした貼り絵が特色の絵本。うさこが天ぷらをあげていると、においにさそわれて、山のおばけがやってきて、つまみ食い…。おばけは出るけれど、怖い本ではありません。大丈夫ですよ。



『どろんこハリー』

ジーン・ジオン／ぶん
マーガレット・フロイ・グレアム／え
わたなべ しげお／やく
福音館書店

ハリーはお風呂が大きい。ブラシを埋めて家を出て、泥だらけ。よごれ放題で帰ったら、誰もハリーだと気づいてくれません。どうしよう。お子さんにもわかりやすい、スリルとユーモアの1冊です。

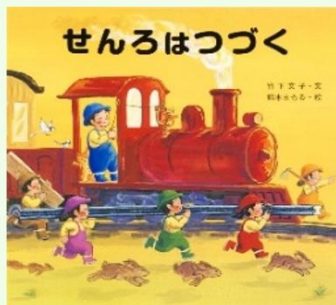




『ぐりとぐら』

中川 李枝子／さく
大村 百合子／え
福音館書店

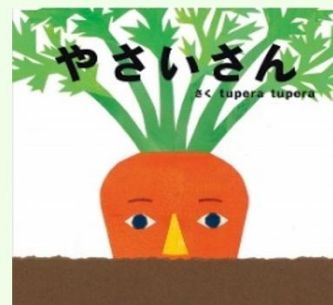
森で見つけた大きなたまご。
どうしようどうしようと試行
錯誤する2匹に、思わず感情
移入してしまいます。お料理
の過程が、細かく表現してあ
るので、出来上がったページ
の感激はひとしおです。



『せんろはつづく』

竹下 文子／文
鈴木 まもる／絵
金の星社

子どもたちが力をあわせて線
路をつなげていきます。困っ
たことが次々におこりますが、
さあ、子どもたちはどうする
でしょう。そのつど解決して
いく様子に、子どもたちの生
きる力が伝わってきます。



『やさいさん』

tupera tupera／さく
Gakken

「やさいさん、やさいさん、
だあれ？」折れたページを開
くと、土にかくれていた野菜
が「すっぽーん！」と出てき
ます。大人も一緒に楽しめる
しかけ絵本。野菜への関心も
高まります。



『三びきのやぎの がらがらどん』

マーシャ・ブラウン／え
せた ていじ／やく
福音館書店

おいしい草が生えている山へ
は、トロルのいる橋を渡らな
ければ行けません。3匹のや
ぎとトロルのかけひきに、ハ
ラハラドキドキ。困難をのり
こえて勇敢になっていく、力
強い北欧の民話です。



『どうぞのいす』

香山 美子／作
柿本 幸造／え
ひさかたチャイルド

うさぎさんが作った「どうぞ
のいす」。ろばさんがどんぐ
りを置いておくと、どんぐり
がはちみつになって、パンに
なって…。次々にどうぞの優
しさがつながっていき、心あ
たたまる嬉しい展開です。



『かいじゅうたちの いるところ』

モーリス・センダック／さく
じんぐう てるお／やく
富山房

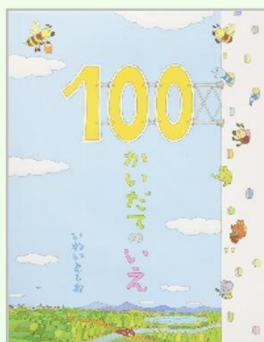
しかられて寝室にほうりこま
れたマックスは、かいじゅう
たちのいるところへ行って王
さまになります。でもおかあ
さんのあたたかい夕ごはんが
待っていて…。想像力で気持
ちを発散できる名作絵本。



『もうぬげない』

ヨシタケ シンスケ／作
プロンズ新社

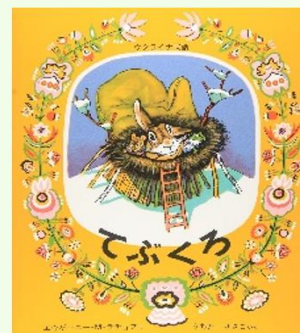
ふくがぬげなくても、なんとかなる！子ども目線の生活あるあるを、ヨシタケシンスケさん流にコミカルに描いた絵本。主人公の男の子のたくましい想像力に驚かされます。親子で笑ってください。



『100かいだてのいえ』

いわい としお／作
偕成社

縦にページをめくると、10階ごとに違う生きものが住んでいて、そのお部屋の様子も生活も様々です。主人公と一緒に各階を楽しみながら、上へのぼる気分を味わえます。どのフロアもそれぞれ素敵です。



『てぶくろ』

ウクライナ民話
エウゲーニー・M・ラチョフ／え
うちだ りさこ／やく
福音館書店

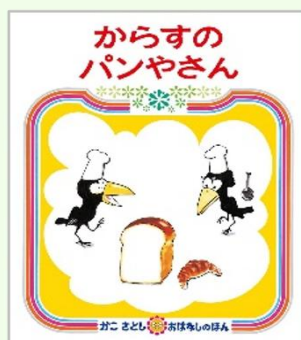
雪の森に落ちた片方の手袋に、ねずみが暮らし始めます。かえる、うさぎ…次々に入って手袋はもうはじけそう。くり返しの語り、個性的なキャラクター、民族色豊かに表現された絵など見どころいっぱいです。



『うんちっち』

ステファニー・ブレイク／作
ふしみ みさを／訳
あすなろ書房

うさぎの子が言える言葉はただひとつ「うんちっち」。何と言われても「うんちっち」。ある日、オオカミに食べられて…という展開です。こんな絵本で子どもたちを発散させてあげたいですね。



『からすのパンやさん』

かこ さとし／絵と文
偕成社

4羽の赤ちゃんが生まれ、大忙しで失敗続きのからすのパンやさん。でも、力をあわせ素敵でおもしろいパンをどっさり焼きました。すると大評判になって…。パンいっぱいのページにわくわく。



『わたしのワンピース』

にしまき かやこ／・えとぶん
こぐま社

花模様になったり水玉模様になったり…。周りの景色にそまって次々と変わっていくワンピース。「わたしににあうかしら。」リズムカルな言葉のくり返しも楽しくて、次は何の模様かなと読み進められます。